

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,874	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,874

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	1,966	t-CO ₂	1,964	t-CO ₂	1,905	t-CO ₂	2,002	t-CO ₂	1,874	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			0.1	%	3.1	%	▲ 1.8	%	4.7	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和6年度は、冬季に温水プール棟の修繕工事のため長期休業があり、この要因により過去の排出量と比較しても、かなり低い排出量となった。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源行動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 空調機器のタイマーコントロールの徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> エアハンドリングユニットについて、中央監視装置にて空調スケジュール設定を行っている。 	<p>契約デマンド基準値を超過しないように、熱受入ポンプおよび、空調機の起動終了時刻の見直しを実施。</p>
省エネルギー・省資源行動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 廊下・ホールなど共用スペースは必要な照度を確保した上で間引き点灯する。 使用していない部屋の照明は消灯する。 トイレ照明の人感センサー化を進める。 照明のLED化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度から計画的に各施設のLED化を進めていく 	<p>スケートリンク、体育館の照明を、水銀灯からLED照明へ更新。</p>
省エネルギー・省資源行動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 離席時にはパソコンモニター電源をOFFにする。 OA機器（プリンタ、コピー、FAX等）は不要時電源をOFFにする。 	<ul style="list-style-type: none"> スリープ機能を併用して節電に努める。 	<p>退館時にOA機器電源のOFFを徹底（継続実施中）。</p>
省エネルギー・省資源行動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 長時間運転するファンのVベルトを省エネベルトに交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用期間が長いVベルトは積極的に省エネベルトに交換していく。 	<p>Vベルト交換時には、省エネタイプのベルトを使用する（昨年度は交換なし）。</p>
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 両面コピーの徹底をする。 OA用紙の分別回収を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> OA用紙の回収BOXに分別用シールを貼り、分別ミスをゼロにする。 	<p>OA用紙、可燃ごみの分類周知徹底を実施（ゴミ箱に分類用シール貼付など継続実施中）。</p>
自動車に関する対策	<ul style="list-style-type: none"> マイクロバス、送迎用バスのアイドリングストップを徹底する。 急加速・急発進をしないアクセルコントロールを心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップ、エコ運転に努める。 	<p>アイドリングストップ、エコ運転に努めるように周知（継続実施中）。</p>

指針第2号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

みなとアクルス低炭素推進協議会への参加。 (デマンドレスポンス実施など 夏季=電気3回・熱1回 冬季=電気3回・熱1回)
